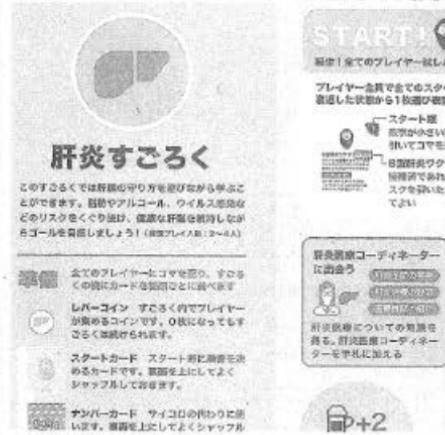


肝臓を専門に診る医師らが開発したボードゲーム「肝炎すごろく」の一部



肝炎すごろく

このすごろくでは肝臓の守り方を遊びながら学ぶことができます。脂肪やアルコール、ウィルス感染などありますをくり抜け、健診や肝臓を守るためにゴルフをしましょう！（参考プレイヤー数：2~4人）

準備
全てのプレイヤーにコマを選び、そこから他のカードなどを貰うなどして始めます
ルーパーコイン すごろく内でプレイヤーが得めるコインです。0枚になってしまふとさざるく続けれられません。
スクートカード スクート用に消費者券を貰ふカードです。画面を上にしてよくシャッフルしておきます。

ナンバーカード サイクロの代わりに使います。裏面を上にしてよくシャッフル



専門医ら開発「肝炎すごろく」リスクや予防「体験」

org/contact/

ヨン・デザイン・センターの西井正浩教は「楽しみながら肝臓を守ることが身近になるよう願つていて」と呼びかけている。問い合わせ先は同センターウェブサイト、<https://ycdc.org/contact/>

じつは「思い切りサッカーをする」（コイン一枚）と、「発症」のイベントを避けた改善のますも。肝炎に関するクイズに答えつつ、インをためてゴール一番乗りを目指すルールだ。

横浜市大コミュニケーション・デザイン・センター

日常生活が肝臓に与える影響やウィルス感染でがんの原因にもなるB型、C型肝炎や「脂肪肝」のリスクの増え方を織り込んだ力作。国立国際医療研究センター（東京）の考藤達哉・肝炎免疫研究センター長が新しい啓発を考えよう依頼。横浜市立大のデザイナーらが「人生ゲーム」をヒントに患者の経過を疑似体験してもらうゲームを開発した。

肝臓ケアゲームで学んで

「肝炎すごろく」を開発した。自覚症状の出にくい「沈黙の臓器」である肝臓のケアに役立つ知識や行動を楽しく学んでもらい、生活習慣を見直したり、検査を受けたりするきっかけをつくるのが狙い。イベントなどの一般への無料配布も検討している。